

予 算 要 求 資 料

令和5年度5月補正予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通対策費

事業名 地域公共交通等燃料価格高騰対策支援金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 公共交通課 地域交通係 電話番号：058-272-1111(内4935)

E-mail：c11134@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 213,699 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	213,699	0	0	0	0	0	0	0	213,699
決定額	53,501	53,501	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・地域公共交通事業者等は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少して収益が落ち込んでいる中、長期化する原油高の影響が経営に追い打ちをかけている。
- ・今後、新型コロナウイルスの2類から5類への移行により、飲食業界をはじめ、経済活動が徐々に回復し、増加する移動需要に応える地域公共交通等のニーズが高まることが見込まれる。このため、公共交通事業者等の燃料費上昇分に相当する額を支援金として交付し、県民生活や経済活動に不可欠な地域公共交通等の維持確保を図る。

(2) 事業内容

- ・各地域公共交通事業者等の運行継続への支援
 - ①地方鉄道事業者 28.70円/L (軽油)、10.48円/kwh (電気)
 - ②広域バス路線事業者 342 千円/台
 - ③タクシー事業者 (LPG車を除く) 53 千円/台
 - ④自動車運転代行業者 51千円/台

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ (2) に同じ

(4) 類似事業の有無

- ・ 無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	60	コピー代、紙 等
役員費	40	郵送料 (84円×400者)、電話代 等
交付金	213,599	地方鉄道 86,404千円 広域バス路線事業者 87,210千円 タクシー事業者 25,705千円 自動車運転代行業 14,280千円
合計	213,699	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

<国 (中部運輸局) >

- ・ 令和5年4月3日。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」の活用による交通事業者支援に関する協力依頼

(抜粋)

「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」の活用が効果的と考えられる事業として地方自治体に示される「推奨事業メニュー」において、「地域公共交通や地域観光業等に対する支援」が挙げられています。

つきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した交通事業者への支援策のご検討方、よろしくごお願い申し上げます。

(2) 後年度の財政負担

- ・ 無し

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地域公共交通事業者等は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少して収益が落ち込んでいる中、長期化する原油高の影響が経営に追い打ちをかけている。新型コロナウイルスの2類から5類への移行により、今後、飲食業界をはじめ、経済活動が徐々に回復することが見込まれる。それに伴い、増加する移動需要に応えられるよう地域公共交通等の維持確保を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 目標	終期目標 (R5)	
					達成率	
①交付対象者数	0		167	248	248	100%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	申請のあった167事業者全てに対し支援を行った。 指標① 目標：187者 実績：167者 達成率：89%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価)	<p>地域公共交通事業者等は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少して収益が落ち込んでいる中、長期化する原油高の影響が経営に追い打ちをかけている。 新型コロナウイルスの2類から5類への移行により、今後、飲食業界をはじめ、経済活動が徐々に回復することが見込まれる。それに伴い、地域公共交通等のニーズが高まる。</p>
3	
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	<p>地域公共交通事業者等への燃料価格高騰による経費増の緩和に繋がっている。</p>
2	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価)	<p>国補助等の動向を踏まえて補助対象や補助額について検討している。</p>
2	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	